

# Press Release



〒753-8511 山口市吉田1677-1  
TEL : 083-933-5007  
FAX : 083-933-5013  
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

【2023年10月2日】

送付枚数 本票含め5枚

報道機関 各位

## — 国立大学では初の取り組み —

山口大学国際総合科学部が、学部内コミュニケーション手段として

Voicy を導入します！

仲秋の候、貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、山口大学国際総合科学部は、音声プラットフォーム Voicy を学部内コミュニケーションの手段として導入することになりました。国立大学による Voicy の導入は、初の取り組みとなります。

つきましては、この取り組みについて、別紙のとおりご紹介いたしますので、取材及び報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

### ■ Voicy とは

株式会社 Voicy 社が開発・運営する音声プラットフォームで、今回国際総合科学部が導入したのは「Voicy 声の社内報」というツールになります。スマートフォン1台で収録・配信ができ、学生は、ながら時間に手軽に聴くことができます。

### ■ 目的

国際総合科学部では、音声を通じた新しいコミュニケーションを構築し、授業内では話せなかった様々な話題を放送することで学生の学びをより深められる環境を支援していきます。

- この件に関する取材のお問合せは下記までご連絡ください。

国立大学法人山口大学国際総合科学部  
准教授 村井 礼 (むらい ひろし)  
〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1  
E-mail : murai@yamaguchi-u.ac.jp

**発信者** 国立大学法人山口大学総務企画部  
総務課広報室  
〒753-8511 山口市吉田 1677-1  
TEL : 083-933-5007  
FAX : 083-933-5013  
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

## 国立大学初、山口大学が学部内コミュニケーションにVoicyを校内放送として導入

-音声DXで学部内コミュニケーションの活性化に貢献-

音声プラットフォームVoicyを開発・運営する株式会社Voicyは、国立大学法人山口大学国際総合科学部と連携し、国際総合科学部内でVoicyによる校内放送を開始しました。国立大学によるVoicyの音声導入は、日本で初めての取り組みです。

国際総合科学部の学生と教職員、そして学生同士の新しいコミュニケーションの形を模索し、音声を通じて大学における学部内コミュニケーション活性化を目指します。



今回の取り組みでは、国際総合科学部の学生を対象として、2023年6月よりVoicy内に学生や教職員などの関係者だけが聴けるクローズドなチャンネルを設けました。

このチャンネルでは、「大学における学び方」「大学でのAI活用」「定期試験への心構え」「キャリアアドバイス」「健康面のケア」など、学業と大学生活に関するさまざまなテーマで放送がおこなわれていきます。放送はアーカイブされるため、学生は自身の都合に合わせていつでも聴くことが可能です。

現在、大学教育はコロナ禍を経て、デジタル化が急速に進んでいます。そんな中、Voicyは非同期の音声コミュニケーションという新たなDX手法によって、より学生の学びを深められる環境を支援していきます。

## ■山口大学 国際総合科学部 准教授 村井 礼さんからの声



今年4月より、学部の広報委員長として、新プロジェクト「FGSS\_LOVE」（FGSSは国際総合科学部の略称）を立ち上げました。学生・教職員が一体となり、満足度を高めることを目指しています。「Voicy声の社内報」は学生・教職員の思いを「声」として伝えることができます。特に、本学部では多くの学生が1年間の海外留学を経験します。音声を用いた学内限定メディアを活用することで、遠く離れた場所に居てもハートフルなコミュニケーションを実現できます。なお、Voicyには素晴らしいパーソナリティが集まっています。声の社内報サービスを通じて、学生達がこれらのコンテンツに触れる機会が増えるので、地方に居ながら、最先端ビジネスなどを学ぶきっかけになれば嬉しく思います。

## ■ Voicy担当者からの声

株式会社Voicy 「Voicy 声の社内報」 事業責任者 堤 強一



Voicyはこの数年で、より広い分野・多くのシーンで活用されるようになりました。外務省による海外旅行者への放送や、医療機関による院内メンバー向けの放送、航空機関による安全共有の放送など、各所で新たな音声コミュニケーションの形が生まれています。今回の山口大学さんの校内放送もそんな新しい音声コミュニケーションのひとつです。この音声DXの取り組みを通して、教育機関の校内コミュニケーションをより活性化させる環境作りを推進していきたいと思います。

## ■山口大学国際総合科学部とは

国際総合科学部では、文理の枠を越えた幅広い知識を持ち、日本語・英語をツールとした高いコミュニケーション能力とデザイン思考による課題解決能力を持つグローバル・スペシャリストを養成します。1年間の海外留学で、国際感覚や異文化理解力を身に付け、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、コミュニケーション能力と共働力を育成。また、企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛えます。これらのカリキュラムを通して、国際舞台や地域社会の現場で直面する困難な課題を発見解決し、新しい価値・新しい社会を創造するグローバル・スペシャリストを育てます。

## ■今回の校内放送で使われた放送基盤「Voicy 声の社内報」



「Voicy 声の社内報」は、音声プラットフォームVoicyを活用した社内のコミュニケーションDXツールです。社内メンバーだけが聴ける聴取環境を構築し、実際の「経営者の声」「メンバーの声」を届けることで、体温が感じられるコミュニケーションを実現します。

スマートフォン一台で収録・配信ができるVoicy専用の制作アプリを提供、従来のテキストや動画といった社内報に対して、少ない運用コストで実施が可能です。ながら時間に手軽に聴けるのでメンバーの聴取率も高く、インナーブランディングに大きな効果をもたらし、組織を活性化させます。

2019年のサービス開始からこれまでに生まれた放送は5,000回以上。年間聴取時間は毎年平均250%で成長し、2022年には2万5,000時間を突破しました。社内ラジオの文化は、いま急速に広がってきています。※

▼「Voicy 声の社内報」公式サイト

<https://service.voicy.jp/koenoshanaiho>

※ 2023年4月23日Voicyニュースリリース

【社内ラジオ白書2023】Voicy 声の社内報、年間聴取時間2万5,000時間を突破。3年で平均250%成長。朝の自分時間にながら聴き習慣が浸透、社内ラジオ文化が拡大。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000305.000021111.html>

## ■ 株式会社Voicyについて



株式会社Voicyは、音声市場・ボイステック業界のリーディングカンパニーです。音声プラットフォームの開発・運営を中心に、音声で企業のコミュニケーション課題の解決を行うブランドソリューションや、音声コンテンツの企画制作や音声イベントの企画運営、声の社内報などクローズドコミュニケーションサービスといった事業を行っています。「音声×テクノロジーでワクワクする社会をつくる」をミッションに掲げ、音声と技術で人と情報のあり方を変えて、人々の生活をより豊かにする未来をつくっています。

会社名：株式会社Voicy

代表者：代表取締役CEO 緒方憲太郎

設立：2016年2月

本社所在地：東京都渋谷区南平台町2-17

Webサイト：<https://corp.voicy.jp/>